

ロングパルスアレキサンドライトレーザー全顔照射施術後に 頬部の産毛の硬毛化を生じた1例

西田美穂

日本美容皮膚科学会雑誌
Aesthetic Dermatology
Vol. 24 : 351~355, 2014

ロングパルスアレキサンドライトレーザー全顔照射施術後に 頬部の産毛の硬毛化を生じた1例

西田美穂*

要旨：緒言：レーザー脱毛の副作用の一つである硬毛化は、他の副作用とくらべて頻度は少ないが決してまれではない。今回、ロングパルスアレキサンドライトレーザーによる施術後に頬部～下顎部に硬毛化を生じた症例を経験したので報告する。

症例：32歳女性、ロングパルスアレキサンドライトレーザーによる全顔照射施術後、頬部～下顎部の産毛に硬毛化を認め、治療に難渋した。

考察・結論：レーザー照射後の産毛の硬毛化は、毛の幹細胞への不十分な熱エネルギーの深達が一因と考えられるが、まだ明確なメカニズムは解明されていない。産毛の発生する部位で起こりやすく、いったん硬毛化が生じた場合には治療に難渋するため、リスクファクターに留意し、そもそも硬毛化の発生を防ぐことが重要である。すでに硬毛化してしまった毛に対しては、レーザーの照射方法の変更のみならず、レーザーの機種変更を検討すべきである。また、硬毛化のメカニズムと対策について、開かれた場での多くの経験の集積と対策の協議が必要であると思われる。

Key Words：ロングパルスアレキサンドライトレーザー、レーザー脱毛、硬毛化、副作用

はじめに

レーザーを用いた脱毛は多くの施設で行われており、副作用として一般に毛囊炎、熱傷、色素沈着、硬毛化などがあげられる。そのなかで硬毛化は、他の副作用とくらべて頻度は少ないが決してまれではなく、いったん引き起こされると治療に難渋することがある。今回、ロングパルスアレキサンドライトレーザーによる全顔照射施術後に頬部～下顎部の産毛に硬毛化を生じた症例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

症例：32歳、女性。

主訴：顔面のくすみ、毛孔の開大、産毛

現病歴：30歳ごろから肌のくすみと毛孔開大、産毛が気になり、ダウンタイムの少ない治療を希望して初診。

現症：表在性色素病変の散在と、毛孔の開大、産毛を認め、ロングパルスアレキサンドライトレーザーの全顔照射を行うこととした (Fig. 1)。

照射機器：ロングパルスアレキサンドライトレーザー (GentleLASE LE[®], Candela Co., Ltd., USA) を用いた。

照射内容：波長 755 nm, スポットサイズ 12 mm, パルス幅 3 ms, 照射エネルギー密度 18 J/cm², dynamic cooling device オン (冷却ガス噴出時間 30 ms) の設定で全顔にレーザーを照射した。

経過：3～4週間ごとに全顔に計3回照射を

*見寺絢子クリニック

[連絡先] 西田美穂：見寺絢子クリニック

(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2丁目3番2号 天神アイエスビル6F)

E-mail: mihoxnishida@gmail.com